

令和 2 年 度

財政事情と主要な施策の成果

魚沼地区障害福祉組合

第1 魚沼地区障害福祉組合会計の状況

1 決算の概要

(1) 決算収支

魚沼地区障害福祉組合会計の決算額

歳入 424,937千円（令和元年度 395,560千円）

歳出 384,430千円（令和元年度 369,507千円）

前年度に比べて歳入歳出は次のようになりました。

歳入 29,377千円増（7.4%増）

歳出 14,923千円増（4.0%増）

形式収支

令和2年度の形式収支（歳入歳出差引額）は、40,507千円となりました。

（令和元年度 26,053千円）

実質収支

令和2年度の実質収支（形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた額）は、40,507千円となりました。

（令和元年度 26,053千円）

単年度収支

実質収支40,507千円から、前年度実質収支26,053千円を差し引いた単年度収支額は、14,454千円となりました。

（令和元年度 ▲19,747千円）

実質単年度収支

単年度収支に財政調整基金積立金24千円を加えこれから当該年度において取り崩した財政調整基金繰入金38,800千円を差し引いた実質単年度収支額は、▲24,322千円となりました。

（令和元年度 ▲19,721千円）

(3) 歳入の状況

ア 歳入科目別内訳

(単位：千円)

（単位：千円）

区	分		令和2年度	令和元年度	増 減		
分 担 金 及 び			308,625	303,251	5,374		
負 担 金	市 町 分 担 金	経 常 費 分 担 金	60,000	62,182	▲ 2,182		
		施 設 整 備 費 分 担 金	40,017	40,112	▲ 95		
	負担金			208,608	200,957	7,651	
		児童福祉費		12,278	21,656	▲ 9,378	
			市 町 居 宅 生 活 給 付 費	9,309	17,760	▲ 8,451	
			障 害 児 童 施 設 利 用 者 負 担 金	1,356	1,314	42	
			居 宅 生 活 支 援 利 用 者 負 担 金	1,613	2,582	▲ 969	
			社会福祉費		196,330	179,301	17,029
		市 町 施 設 入 所 支 援 介 護 給 付 費		163,742	154,684	9,058	
		市 町 居 宅 生 活 支 援 費		14,363	8,052	6,311	
		施 設 支 援 介 護 利 用 者 負 担 金		17,509	16,020	1,489	
		居 宅 生 活 支 援 費 利 用 者 負 担 金		716	545	171	
		県 支 出 金			50,558	45,580	4,978
			県補助金		6,104	0	6,104
県委託金	児 童 福 祉 費 委 託 金		14,135	20,286	▲ 6,151		
施設給付金	障 害 児 施 設 給 付 金		30,319	25,294	5,025		
財 産 収 入	基金及び積立金	67	42	25			
寄 附 金	寄 附 金	90	70	20			
繰 入 金	基 金 繰 入 金	38,800	0	38,800			
繰 越 金	前 年 度 繰 越 金	26,053	45,800	▲ 19,747			
諸 収 入		743	817	▲ 74			
	雑 入	743	817	▲ 74			
組 合 債	組 合 債	0	0	0			
歳 入 合 計			424,937	395,560	29,377		

ウ 諸収入の内訳

(単位：千円)

区	分	令和2年度	令和元年度	増 減
雑 入	更生園作業収入	68	89	▲ 21
	実習生受入謝礼	42	140	▲ 98
	外来者等給食提供 徴収実費	0	4	▲ 4
	非常勤職員 雇用保険料	115	91	24
	共済保険料還付金	63	48	15
	保険等事務手数料	45	53	▲ 8
	私用複写機使用料	0	1	▲ 1
	公衆電話 委託手数料	1	1	0
	自動販売機 設置負担金	25	20	5
	ふれあい祭模擬店 売上金	0	66	▲ 66
	電柱土地使用料	18	0	18
	建物災害共済金	319	0	319
	公用自動車共済費 等	0	304	▲ 304
	ガラス破損修理負 担金	47	0	47
合	計	743	817	▲ 74

(5) 年度別の主な請負工事と購入備品

(単位：千円)

年 度	金 額	項 目
平成29年度	270	厨房用シンク設置工事
	3,726	魚沼更生園男子棟浴室工事
	55	厨房用食品棚取付工事他
	257	魚沼更生園寮舎エアコン取付工事
	246	厨房用冷凍庫購入
	1,501	利用者外出用車両購入
	62	魚沼学園2階洗面所収納棚上部工事
	210	液晶テレビ 他魚沼学園入替等備品
	811	ソファベッド 他魚沼更生園入替等備品
計	7,138	
平成30年度	9,671	魚沼更生園非常発電機設置及び消火栓ポンプ取替工事
	3,996	魚沼更生園女子棟浴室工事
	1,608	魚沼更生園井戸掘削工事
	572	魚沼更生園駐車場水路補修工事
	335	魚沼更生園居室エアコン取替工事
	81	魚沼学園洗濯室流し台取付工事
	50	魚沼学園居室常夜灯取付工事
	1,020	パソコン入替購入費(9台)
	259	液晶テレビ 他魚沼学園入替等備品
	267	炊飯ジャー 他魚沼更生園入替等備品
計	17,859	
令和元年度	4,928	魚沼更生園男子トイレ修繕工事
	1,298	監視カメラ設置工事
	1,177	パソコン入替購入費(9台)
	1,792	公用自動車購入費
	468	移動用スピーカー・アンプセット
	64	液晶テレビ 魚沼学園入替備品
	1,735	全自動洗濯機 他魚沼更生園入替等備品
計	11,462	
令和2年度	2,673	魚沼更生園管理棟トイレ改修工事
	1,518	魚沼更生園居室2室化改修工事
	1,287	魚沼更生園受水槽ポンプ入替工事
	1,199	魚沼更生園居室等エアコン更新工事
	1,177	魚沼更生園屋根裏コウモリ駆除対策工事
	814	業務用乾燥機入替工事
	482	体育館FF暖房機取替工事(2台)
	473	魚沼更生園コードレス電話設備増設工事
	406	魚沼更生園換気扇等更新工事
	210	魚沼更生園防犯灯、駐車場照明取付工事
	1,210	利用者外出用公用自動車購入費
	439	パソコン入替購入費(3台)
	57	3連スクリーン
	88	非接触型検知器サーモマネージャー 魚沼学園入替備品
	145	全自動洗濯機入替購入(3台) 魚沼更生園入替備品
計	12,178	

(7) 基金積立金の状況

(単位：千円)

項 目 別	令和元年度末残高	令和2年度中増減			令和2年度末残高	備 考
		積 立 額	取 崩 額	年 度 末 現 在 高		
施設整備基金	87,067	26,021	0	113,088		
財政調整基金	109,311	24	38,800	70,535		
計	196,378	26,045	38,800	183,623		

(8) 地方債現在高の状況

(単位：千円)

発行 年度	区 分	令和元年度末 現在 高	令 和 2 年 度				借入先	借入利率	その他借入条件
			発 行 額	債 還 金		年度末 現在高			
				元 金	利 子				
26	社会福祉施設整備事業	111,941	0	7,103	771	7,874	地方公共団体 金融機構	0.7% (固定)	元利均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
26	施設整備事業 (一般財源化分)	151,140	0	10,076	743	10,819	新潟県市町村 振興協会	0.5% (固定)	元金均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
26	社会福祉施設整備事業	119,232	0	7,309	822	8,131	地方公共団体 金融機構	0.7% (固定)	元利均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
26	施設整備事業 (一般財源化分)	153,120	0	9,570	151	9,721	新潟県市町村 振興協会	0.1% (固定)	元利均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
27	社会福祉施設整備事業	2,749	0	168	19	187	地方公共団体 金融機構	0.7% (固定)	元利均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
27	施設整備事業 (一般財源化分)	51,744	0	3,234	51	3,285	新潟県市町村 振興協会	0.1% (固定)	元金均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
	計	589,926	0	37,460	2,557	40,017			

歳出について

歳出総額は、384,430 千円となり、前年度決算額（369,507 千円）対比 14,923 千円（4.0%）増額となりました。その主な特徴は以下のとおりです。

① 2 款「総務費」関係

1 項 1 目の一般管理費において、新型コロナウイルス感染予防対策の中、職員研修の中止等による関係経費の研修費、有料道路通行料、燃料費、出張旅費が対前年度比 660 千円の減額になりました。

1 項 2 目の財産管理費において、工事請負費で、魚沼更生園管理棟トイレ改修工事 2,673 千円、魚沼更生園居室 2 室化改修工事費 1,518 千円、魚沼更生園受水槽ポンプ入替工事費 1,287 千円、魚沼更生園屋根裏コウモリ駆除対策工事 1,177 千円を執行しました。新型コロナウイルス感染防止対策としてエアコン、換気扇の更新工事 1,605 千円を執行しました。

また、パソコンの入替購入費として 439 千円、利用者の外出等に使用する公用車購入に 1,210 千円を執行しました。

1 項 3 目の基金費では、利子分の積立として 24 千円を財政調整基金に積増し、利子分と前年度の繰越額の 26,021 千円を今後の施設整備に備えるため施設整備基金に積増しました。その他事務的経費の支出抑制に努めた結果 2 款全体では、予算現額に対して 3,754 千円が不用額となりました。

② 3 款「民生費」関係

1 項 1 目児童福祉総務費では、職員人件費で 480 千円、需用費で居室等修繕料等が 1,513 千円増額となり総務費全体では 2,912 千円の増額となりました。魚沼学園利用児童に対する扶助費の教育訓練費、飲食物費及び日常諸費で 10,588 千円を執行しました。

2 項 1 目社会福祉総務費では、職員人件費で 7,122 千円、需要費で居室等修繕料等が 561 千円増額となり総務費全体では、7,358 千円の増額となりました。魚沼更生園利用者に対する扶助費の指導訓練費、飲食物費、日常諸費で 23,129 千円を執行しました。

なお、利用児童、利用者に必要な洗濯機等の備品入替、購入を行いました。

③ 4 款「公債費」関係

魚沼学園建替事業の財源として、平成 26 年度及び平成 27 年度に発行された組合債の元金及び利子償還分 40,018 千円を執行しました。

※ 主な合併症の症状

- ・てんかん
- ・情緒不安定
- ・ダウン症
- ・自閉傾向
- ・統合失調症
- ・広汎性発達障害

魚沼更生園【定員 40 人／在籍 40 人】

ア 年齢別利用者数

																												(人)	
性別	年齢	18	25	30	34	35	36	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	63	64	65	計		
		1	1	1	1	1	1		2	3		4	1	2			2	1			1		1			1	24		
性別	年齢	1	1			1		2		2	2	1		1				1	2	1	1			1			16		
		1	2	1	1	2	1	2	2	5	2	5	1	3			2	2	2	1	2		1	1		1	40		

イ 障害支援区分認定別利用者数

								(人)	
		区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計	
男				1	4	8	11	24	
女					5	6	5	16	
計				1	9	14	16	40	

※ 主な合併症の症状

- ・てんかん
- ・ダウン症
- ・自閉傾向
- ・情緒不安
- ・身体障害
- ・難聴
- ・統合失調症
- ・双極性感情障害
- ・橋本病
- ・痛風
- ・脂質異常症
- ・アトピー性皮膚炎

(2) 市町別在籍者数

											(人)	
区分	市町	長岡市		小千谷市	十日町市	南魚沼市	湯沢町	津南町	魚沼市	構成市町外	合計	
		旧山古志村	旧川口町									
魚沼学園	男				3	4			2	1	10	
	女				2				1		3	
	計				5	4			3	1	13	
魚沼更生園	男		2	4	1	8			9		24	
	女	1		6		4			5		16	
	計	1	2	10	1	12			14		40	
合 計		1	2	10	6	16			17	1	53	

3 施設運営・支援の概要

(1) 施設運営について

① 魚沼学園

福祉型障害児入所施設として、今年度は入所定員 20 人に対して 13 人でスタートしました。年度途中に 2 人の入所と 2 人の退所があり、年度末には 13 人が在籍しています。内訳は、措置児童 2 人、契約児童 11 人です。なお、令和 2 年 10 月 1 日から入所定員を 21 人に変更しています。

また、在宅の方の支援として日中一時支援事業と空床型短期入所事業を行いました。

② 魚沼更生園

指定障害者支援施設として、今年度は入所定員 40 人に対し 39 人でのスタートとなりました。年度途中で 1 人の入所があり、年度末の入所者は 40 人となっています。

また、在宅の方の支援のため空床型短期入所事業及び空床型通所生活介護事業を行いました。

(2) 利用児者の支援について

魚沼学園及び魚沼更生園の利用児者に対する支援サービスについては、児童発達管理責任者及びサービス管理責任者を中心として、利用児者の意向、適性、障害の特性、保護者の希望やその他の事情を踏まえた個別支援計画を作成し、これに基づく支援サービスを提供しました。

また、それぞれ年間行事計画に沿って利用児者が楽しめる活動を実施しました。

なお、サービス提供中に何らかの状況の変化がある場合も想定されることから、期間を定めてモニタリングを実施し、支援内容等の見直しを行いました。

こうした取組を通じて、安心して生活できる環境づくりを進めるとともに、利用児者の状態に即した支援サービスの提供に努めました。

(3) 関係機関や地域との連携

施設運営にあたっては、県の関係機関（障害福祉課、児童相談所等）から指導や情報提供を受けるとともに、構成市町の福祉関係課、相談支援センターの他、知的障害者福祉協会などの関係団体や県内の同種施設等からの情報収集を行いながら連携の強化を図り、サービスの質の向上や利用児者の満足度の向上に努めました。

新型コロナウイルス感染症の影響により例年実施していた魚沼学園・更生園の保護者会総会や多くの行事が開催できないなかで、アンケート調査により施設運営に向けたご意見をいただいたほか、機関誌の発行、お楽しみ会への景品の提供など、様々な

施設運営の方向性を検討する必要があります。

さらに、プールや体育館についても建築から 45 年以上が経過しており大規模改修等の検討が必要な時期にきています。

(4) 組合構成市町からの財源負担等について

魚沼学園、魚沼更生園とも、公立の一部事務組合施設であるため、給付費の算定において一般の社会福祉法人より減算されており、収支の不足については組合構成市町からの分担金で補わざるを得ません。また、令和 17 年度までは魚沼学園建替事業に係る起債の償還も続きます。

このため、サービスの質の確保と効率的な施設運営といった全体のバランスに配慮しながら、過度な財政負担を避けていく必要があります。